

X-MON4 NTP サーバ設定手順 (RHEL/Rocky9 系)

本文書は、Red Hat Enterprise Linux (以下 RHEL と表記)9 系へ X-MON4 をインストールした環境において、chrony を利用した時刻同期設定を行う手順です。

OS の基本的なコマンド操作についてはご理解のうえお読みください。

1、X-MON サーバへ接続

X-MON サーバに直接モニタとキーボードを接続するか、SSH クライアント等でログインします。

2、対象ファイルのバックアップ

次のように設定ファイルをバックアップします。

```
$ sudo cp -vip /etc/chrony.conf /etc/chrony.conf.org
```

3、設定変更

続いて、指定 NTP サーバを変更します。

pool から始まる既存行をコメントアウトし、ご希望の NTP サーバ情報を指定した行を追加・保存してください。

```
$ sudo vi /etc/chrony.conf
※変更前
pool 2.rocky.pool.ntp.org iburst
(略)

※変更後
# pool 2.rocky.pool.ntp.org iburst
pool [指定の NTP サーバアドレス] iburst
(略)
```

4、設定の反映

エラーなくプロンプトが返れば次のコマンドを発行し、応答が「**active (running)**」となっているか確認してください。

```
$ systemctl status chronyd
(略)
Active: active (running) since X YYYY-MM-DD hh:mm:ss JST; N days ago
(略)
```

5、時刻同期状況の確認

次のコマンドを実行し、指定したサーバが応答に含まれること、応答行のいずれか先頭に*が付与されていることをご確認ください。

```
$ sudo chronyc sources
```

※実行例

```
210 Number of sources = 5
```

```
MS Name/IP address          Stratum Poll Reach LastRx Last sample
```

```
=====
^+ mail1.marinecat.net      2 10 377 846 +369us[ +151us] +/- 6428us
^- time.cloudflare.com     3 10 377 951 +861us[ +642us] +/- 69ms
^* ntp-b2.nict.go.jp       1 9 377 241 -571us[ -659us] +/- 4912us
```

また、次のコマンドで X-MON サーバの現在時刻が正しいかご確認いただけます。

```
$ date
```

時刻を強制的に同期させたい場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ sudo chronyc makestep
```

※実行例

```
200 OK
```

以上